

仁川大学韓国文化体験プログラム 2023

外国語学部英米学科 3 年（参加当時）

◇ 本プログラムの内容

今回 8/7～8/19、約 2 週間韓国にある仁川大学校の短期文化体験のプログラムに参加させていただきました。約 2 週間、主に韓国語の授業と課外活動を通して様々な事をさせていただきました。私たち北九大からは 2 人参加でしたが、他の大学からは多数来ているところもあり、日本人の参加者は大体 50 人くらいいました。プログラム中の活動は基本的に事前に振り分けられたグループでの行動が多く、各グループに必ず仁川大学校の学生が 2 人、バディという形で私たちのお世話をしてくれました。最初のオリエンテーションで、このプログラムの全日程が終了した最後に 7 グループの中から最優秀グループ賞を 1 つ、さらに韓国語授業の各クラスから最優秀生徒 2 人を選ぶような企画もあり、意外にも 2 週間の短いプログラムでも様々な場面で評価をされる機会が多いなと感じました。そのためグループでの活動は大切にグループによりますが、私はグループの仲間と動くことが基本的に多かったです。

◇ 韓国語授業

韓国語の授業はレベルに分かれたクラスで学習しました。初級から高級コースまであり、事前にレベルチェックのアンケートの結果から仁川大学校側がクラスを編成していました。授業初日、自分の振り分けられたクラスに行きましたが、実際に授業を受けてみてからクラスの変更が可能でした。自分のレベルに合わせて上げたり下げたり変更することが現地に着いてからできるので、授業については自分にあったクラスでしっかり学習ができ良かったです。授業では仁川大学校から支給された教科書とワークブックの 2 冊を使用しました。授業スケジュールは日によって異なりますが、1 日授業の日もあれば、午前中は授業で午後は課外授業という日もありました。そして授業の最後はテストがありました。授業で学習した分法や単語が出ました。プログラムの最後に各クラスから最優秀生徒を 2 人決める基準として、テストの成績ももちろん、そのほか授業態度、授業の出席状況など総合的に見て各クラスの先生方が評価をされたようでした。



Figure 1 教科書とワークブック

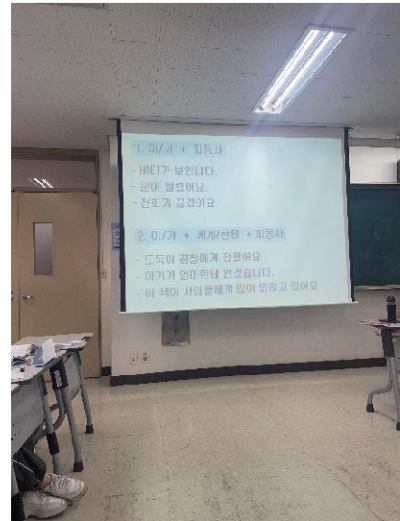


Figure 2 授業の様子

パワーポイントのみでわかりにくくすみません。

◇ 寮について

仁川大学校キャンパス内にある学生寮に滞在しました。寮は女子寮と男子寮に分かれており、それぞれセキュリティもしっかりしており、エントランスから部屋のカードキーがないと入れないようなセキュリティがされていました。私が滞在した寮は2人部屋でトイレ、浴室は共用です。寮にはテレビはありませんでした。各階にウォーターサーバーが置いてあるため、水筒などを持って行くことをおすすめします。冷蔵庫は共用で共用スペースの2階にあります。共用で使う冷蔵庫で自分の物に名前と部屋番号を書いて保管をするので、マーカーやメモ帳なども準備していると良いです。洗濯機と乾燥機も2階にあります。日本円で1回90円くらいで回せます。専用のカードにチャージをして利用するのですが、チャージが現金のみになるので現金も少し持つておくことをおすすめします。チャージはお札のみで、さらにチャージしたい金額を選んだりできず、お札を入れればその入れたお札の金額がチャージされおつりが出ません。2週間の短い滞在だったので2~3回分できるくらいのチャージで充分です。友人がチャージする時におつりが出てこないことを知らず多くチャージしすぎてしまったので、アドバイスとして参考にしてください。寮は思った以上に何もありません。ドライヤーやハンガー、バスタオル、シャンプーやリンス、洗濯の洗剤など、部屋のトイレトペーパーもないので現地で買う必要があります。女子寮も男子寮も1階にコンビニがあるのでそこで色々買うことができます。大学の近くに出ればダイソーやロツテマートもあるので現地でそろえるのも問題ありません。韓国はコンセントの穴のタイプや電圧が違うので、変換器が必要です。変換器も韓国のダイソーなどに行けばありますが事前に渡韓前にコンセントの変換器を準備することをおすすめします。大学周辺に日用品を揃えることができる環境は整っていますが、到着してその日にどうしてもプログラムのオリエンテーションなどがあるため自由に買い物がすぐに行けるわけではなく、実際に今回行った際もあいにく1日目に大雨が急に降ってしまい、到着してすぐ日用品を買いに出ることができませんでした。そのため必要最低限の物はなるべく事前に準備することをおすすめします。

◇ 生活上の注意

気候は福岡とほとんど変わらずとても暑かったです。服装はいつも通り夏に着る格好でいいです。ただ室内の冷房がかなり効いていることが多かったので、何か羽織れる物を1枚持つて行くこともおすすめします。授業中の教室もすごく

冷房が効いており寒かったです。通学はキャンパス内の寮から徒歩で普通に通えるので問題ありません。キャンパス内がとても大きいので10分くらいはかかります。大学周辺にはダイソーや大きなスーパーマーケット、ご飯を食べるところなどたくさんあり徒歩で20分程度、バスで10分程度ですぐに出ることができます。地下鉄の最寄りの駅もその周辺にあるので地下鉄での移動も簡単です。バスや地下鉄、公共交通機関の運賃がとても安く大学周辺のバスは片道約100円で利用できます。地下鉄で仁川からソウルまで片道約200円で行けます。交通系カードはカードの種類によってキャッシュレスでチャージできる物もあります。外国人に最適なWOWPASSカードはアプリを通してチャージができますが、T-moneyカードは駅のホームやコンビニで現金のみでしかチャージできません。初日のオリエンテーションでT-moneyカードをもらいました。私は今回が初めての韓国だったため韓国の交通カードは全く持っていませんでした。そのため仁川大学校からもらったT-moneyカードを利用しました。基本的に韓国はキャッシュレス社会とされているので、私は日本円で1万円分を韓国ウォンに換金して80000ウォン、日本円で8000円ほど持って行きました。80000ウォンあれば洗濯のお金も交通費も足りました。ほとんどクレジットカードで支払いができましたが、たまにお店によっては国内のカードしか対応していないと言われたお店もありました。ソウルの屋台なども現金のみしか対応していないお店が多いです。個人の判断によりますが、洗濯機と乾燥機を利用する際は現金のみになるので自分の必要と思った分の現金を持って行くと良いと思います。

◇ プログラム以外での休日

週末は完全にフリーでした。平日も授業や課外授業の内容が全て終わった後は特に何もなく自由時間でした。日によって食事が提供される日とされない日があったので、夕食の支給がないときは友達と大学周辺のご飯屋さんにご飯を食べに出ることが多かったです。外出するときのご飯代はあまり日本と変わらず、大人数で食べに行けば意外と安く済みます。グループの韓国人のバディがよく一緒に遊んでくれたためとても楽しかったです。週末はソウルへ2日間遊びに行きました。寮の門限は0時までと決まっていました。

◇ 本プログラムを通しての感想

2週間というあっという間の短期プログラムでしたが、それ以上にとても毎日充実した日々を送らせて頂き、とても忘れられない2週間となりました。北九大からは私を含めて2人のみの参加で周りは知らない人ばかりで最初はとても緊張しましたが、グループで行動することが多かったためグループの子達を中心にすぐに仲良くなることができとても安心でした。特に、私のグループの仁川大学校の韓国人2人のバディには本当に良くして頂き、プログラムの時間外でも一緒にご飯を食べに行ったりソウルに遊びに行ったり、色々な思い出を作ることができました。私は今回初めての渡韓だったので、今まで自分が身につけてきた韓国語の実力を現地で使おうと自分からよくバディに韓国語でたくさん話しかけました。韓国語の授業も、私は一番レベルの高いクラスに割り当てられ周囲とのレベルの違いや授業内容も少し難しかったのですが、積極的に参加し新しい単語や文法をまた学習することができました。2週間の仁川大学校でのプログラムを通して、新たに色々な人に出会うことができ韓国の文化も身近で感じる事ができ、このプログラムに参加できて改めて感謝でいっぱいです。そしてこの私のレポートが将来このプログラムに参加する学生に少しでもお役に立てると嬉しいです。



Figure 3 修了証



Figure 4 大学近くのロッテマート
この周辺に駅やダイソーや色々あります。



Figure 5 タツカルビ



Figure 6 野球観戦



Figure 7 韓服体験



Figure 8 仁川大学校の図書館



Figure 9 韓国にあるテーマパーク、エバーランド



Figure 10 最終日お昼ブルコギ



Figure 11 修了式の時のグループ写真



Figure 12 最優秀グループ賞頂き、大学のマスコットキャラクターのキーホルダーを貰いました。